

玄関まわりのお手入れ

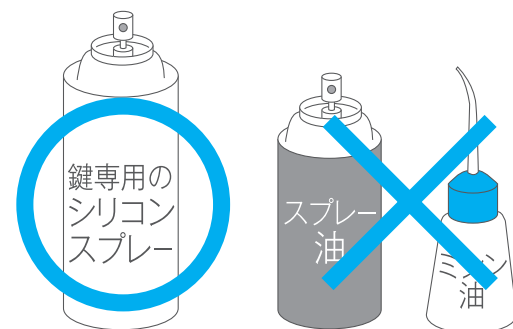
玄関は「家の顔」なだけにいつもキレイにしたいところ。
外からの汚れが入りやすいので、十分にお手入れしましょう。

玄関キーの精密度

玄関扉の鍵は、その防犯性能の向上に伴ない、精密度合も上がっています。少量の砂ボコリが鍵穴に入るだけで作動不良を起すこともあります。お子さまのいたずらにもご注意ください。

鍵の回転が悪いとき

日常の使用で鍵のすべりが悪くなることがあります。鍵専用のシリコンスプレーを使用し、数回「施錠・開錠」を繰り返してください。ミシン油や油系の潤滑スプレーはホコリを吸着し、鍵の故障につながります。使用しないでください。

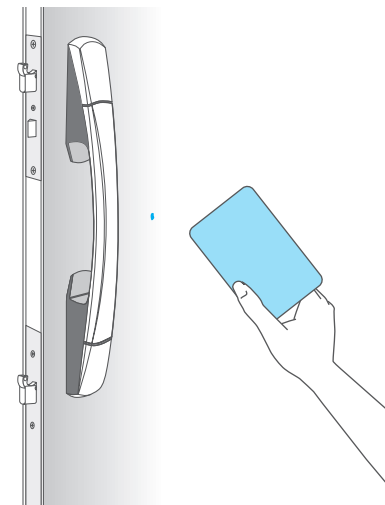
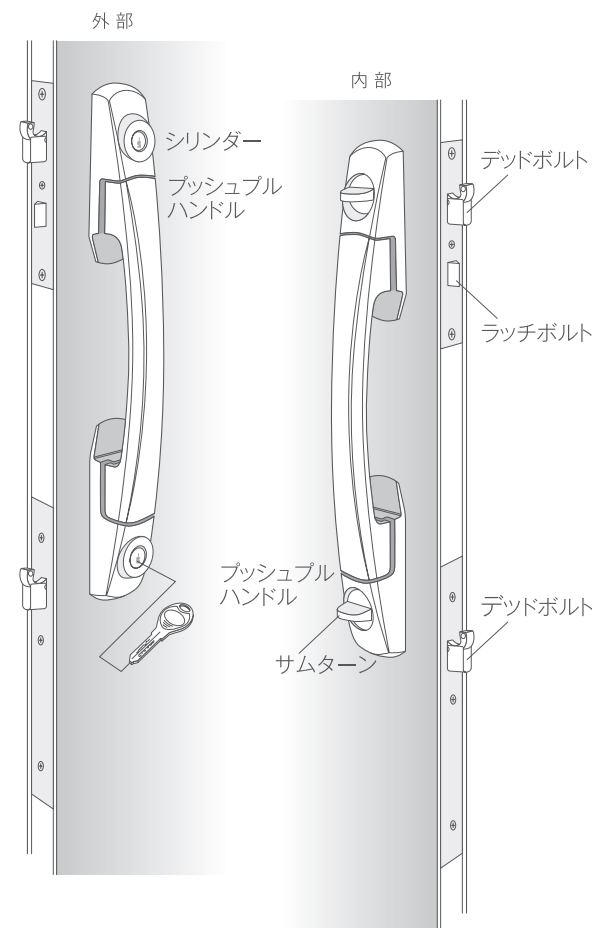


鍵の複製や交換（タッチキー含む）

鍵を複製したり交換したりする場合はメーカーの正規代理店にご依頼ください。精密な鍵のため、正規代理店以外での複製や交換はトラブルの原因となります。

〈ご注意〉

玄関キーのメーカーをご確認ください。
正規代理店以外で複製された鍵の使用により発生した故障・事故の場合は、アフターサービス期間内であっても実費をご請求する場合がありますので、ご注意ください。



床材〈床材の種類と注意〉

普段のお手入れ

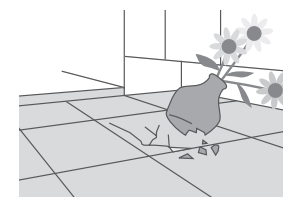
掃除機を使ってホコリや砂を吸い取って下さい。汚れがひどい場合は、家庭用洗剤を薄めた溶液を利用し、最後は水分と洗剤分をしっかりと拭き取ってください。

※玄関の床面は、「タイル」「御影石」「大理石」を使用しています。「御影石」や「大理石」については天然素材のため、色むらや、表面の凹凸があります。

注意

ヒビや割れ

重量物や硬い材質のものを床面に落としたりすると、ヒビが入ったり、割れたりする場合があります。また、局部的に重量の加わる家具などにより、床材を傷める場合もありますのでご注意ください。



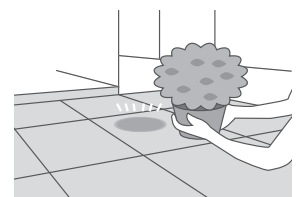
砂にもご注意

床材の表面が“磨き仕上げ”の場合は、砂などにより表面のキズが目立つようになる場合があります。掃除機などを利用して、こまめに砂を取り除くようにしてください。また、雨の日など、表面の濡れはすべりの原因となりますので、特にご注意ください。



シミ〈石材の部分〉

石材の表面は研磨など表面処理をしていますが、水などの液体は浸透します。多量の水分は“ワジミ”などを残す場合があります。水分はすぐに拭き取るようにしましょう。



玄関・勝手口ドア

※ドアロックやドアクローザーなどの詳しい取り扱い方法は、各取扱説明書をご覧ください。

砂ぼこりなどで汚れやすいので、こまめにお手入れをしましょう。

玄関ドアのお手入れ

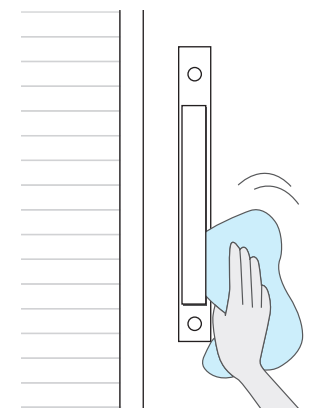
アルミ製ドアは水洗いができます。

汚れが目立ってきたら洗剤で汚れを落としてください。

レバーハンドルは汚れやすいのでこまめに乾拭きしてください。

玄関ドアの補修

鍵がまわりにくになったら、シリコンスプレーをご利用下さい。鍵穴に油などをささないでください。



玄関タタキ

玄関タタキのお手入れ

雑巾で水拭きしてください。水洗いする時は、水気が残っていると建物を傷めるので、しっかりと拭き取ってください。
汚れがひどい場合には、クレンザーや洗剤などでこすり洗いをします。洗剤を残さないよう、気をつけてください。